文化十酉年仲夏中旬写之

大學

石河勝任

下

大學

大學ハ小学ノ書ヲ治メ古ノ人ノ学ヲ為ルニ夏ト殷ト周ノ世ハ学同ジカラズ村ニ塾ニ小学校ヲ設ケ天子ヨリ都ニ至ルマデ大学校ヲ設ケ書物更ニ大学ト名付ケ元来人間ノ皆天地ノ正気ヲ受テ生レ出テ故ニ性ヲ伝ヘラレ心ヲ具ヘ身ヲ修シ家ヲ斉ヘ国ヲ治メ天下ヲ平ラカニスル道理ヲ学ブ故ニ大学ニ立章編ニ仁義礼智信ノ文字ヲ親君臣有義夫婦有別長幼有序朋友有信ノ五ツノ

敬ス[illegible]人ヨリ[illegible]也文ニ人ヨリ敬ト云字ハ孝ト云
字ニ成ル[illegible]文ト云ハ字ニ成リ生ル[illegible]孝ニ[illegible]行ル
[illegible]ハ[illegible]孝ヲ[illegible]ヒ[illegible]ト大ニ孝ニ通ヨタル事
[illegible]ヒ[illegible]曾子ニ孔子ヨリ[illegible]一番ニ問フ
[illegible]ニ成ル[illegible]ヒ[illegible]文ニ住ヘタル尉又始メ[illegible]
[illegible]ヒ[illegible]ニ成ル事ハ此ニ文
ニ孝ニ[illegible]ニ[illegible]ハ又ニ通ル時[illegible]
分ニ[illegible]ヒ[illegible]ハ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]
[illegible]ン絶ヘ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]

所ニ行ヒ[illegible]ヒ孔子ノ門ヲ開ヒ[illegible]ヒ[illegible]
[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]
[illegible]ヒ小杖ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]
又ニ[illegible]ヒ敬ヒ[illegible]ヒ孝ヒ[illegible]ヒ大杖ヒ[illegible]ヒ[illegible]
孔ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]
[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]
孝ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]
[illegible]ヒ文ヒ敬ヒ[illegible]ヒ過ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]
[illegible]ヒ[illegible]ヒ敬ヒ[illegible]ヒ孝ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ文ヒ
[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]

拙き事を教へ給ふ人を師と云
学ぶ事を教へ給ふ人を大学校と云
よ濁りなき心を大学と書き初学入
徳門と云ふ聖人を孔子と云
孔子初学を云徳を深くと云人の仕事
也弓術射を云ハ不射ハ拙き人を深く云
とれを学ぶ遠く成る事こしん成る
こも深き事なり相違見ぬ拙成る
徳を常に工夫する所なる人の成りたる
ハ此を工夫也徳を生れつき中学ぶ

新しき徳に付る人ハ仏法を左右する
ハ常云事を記す成ハ文を
孝者ハ忠を能く行ふ人を自然と人を
学ぶ事工夫ハ信ハ平生修行
工夫家が人の成工夫也初
孔子も常が仁義を忠ハ口ハ我事を
学文ハ事ハ つ見ぬ成ぬ来配
も我が思ふ云ものなり行ふ
ける事なり自ら居て人を記
ハ人を求が思ふの也仏寺建立

[illegible]人建立し助力せる武士共も建立し人数多
相[illegible]ともさすが業[illegible]人数者にて[illegible]
わるい山建立し助力はせねともそれハつれもしへを
自分ハつよく人成すれ[illegible]ハ氣かあるゆへ武
る人を人も事見自分かしこを祖を家門
幼世なれを敵人者たゆへ封内士民信義人を
ゆる氣しかるを事者[illegible]者[illegible]
[illegible]を封内し事か成さるかる浅拙人
者に成[illegible]ものを悪しるるべき
皆ものくれを女を好[illegible]
酒を楽し多を皆[illegible]

成[illegible]成[illegible]文のゆる[illegible]人に伝をつれ事を
人を[illegible]伝[illegible]の皆[illegible]通り
人を氣[illegible]事成人者事[illegible]紙[illegible]
異而もかやうの文[illegible]所生[illegible]
[illegible]事なる事級徳[illegible]天下四[illegible]
[illegible]事[illegible]大地[illegible]事也[illegible]軍[illegible]
[illegible]見[illegible]生[illegible]
成敵[illegible]声[illegible]
[illegible]つを万人を事[illegible]
[illegible]紙[illegible]

しく衣裳残るれまをと拱ミゐる人ハ天下ニ全忠とは
めて日月ニ一として志てひまる事又毎ことくしかと
色ニ而ニその化ニ移せる所ニその神ニしてハ而ふまる
身ニ應せらしすくる變化をなしく改まる事ふく理
るかあるの論つくしまるかてもし去その覚へあしく
その形ハとるすそれ神之感通ハ無ニ其形るれと
神霊へ通しる所除せれすと自然と示さす深く有るまして
必ずある也へ無形ニ神まさへしのこれし見聖
王明道等聖ニ通り神ニ如くしる事上ニ現在
滴ります天下の人ハして感通ニ効るある通り

されそ通徳し大なる所なりむらし同然云志ひさ
唐残攻しニ郭の義ヨ人倫の事なけれしよ藝ひあ
迷てし惑ひ出ニ謂忠と信し害残解ニ于郭ニ郭し
以国之道魯君之藝ひと信をおしまて忠路之人言と
信しまるもニ通ニ付る信をとしるハ常に信之實う
きに全事へるり拠門し云ハ入徳之入口なる事人こし
安へ通るに門なれも道ある事迷とおしく興るは
居へしむる重そのことしそこ入口正しけれもすて徳
こ成就せらんもかしし云へし田人本なる時よ全
くなる所ニ川道理しいふ根よる事ハ其道通事邊

く又ハ嶮岨ニ臨ミ危ふき道ニ乗じ人
ゝその門人ゝ安く全きを志ハ危を志ハ
ゝ人ゝ道を道とせ道を道ひ
ゝ聖人ゝ門人ゝ門人ゝ門
ゝ入れを事ゝ人学ゝ
ゝ聖人ゝ道ゝ門人ゝ門人ゝ
先ゝ書ゝ見ゝ人学ゝ
書ゝ云ゝ世事ゝ
学ゝ書ゝ事ゝ
孔子ゝ弟子ゝ

ゝ学ゝ面ゝ道ゝ
事ゝ
ゝ学ゝ書ゝ事ゝ聖人ゝ
ゝ聖学ゝ
ゝ聖人ゝ道ゝ
ゝ聖人ゝ
ゝ義ゝ
ゝ事ゝ
ゝ事ゝ
ゝ事ゝ

里たるとなん聞こえ侍しかば

人獻院様御所様御参内帝小府殿

成り給ひて御所様御上り給ふ時

まゐれる御所様とのゆかりの上臈御出給へれしとなり

文をかくて御養生まゐらせ給ひ御薬まゐ

る時刻を延引し給ふ歳後より三

月と云ひ伝へ侍る故掃部頭殿亡き大花ゝ將軍家

の一日の内に共に亡き給ひ信ハ一時に失ひ給ひ

御腰中も時刻さしたる用ゝ立たず兄

御養生といへハ腹を養ふ志ゝ信ゝ

なるべし思ひ給ふ人ハ志ゝ忠ゝ孝ゝ

ふ孝ゝ髪毛一筋程事ゝ大遠

事ゝ中ゝ第同ゝ世ゝ知ゝ人ハ

年ハ文声ゝ等ゝの用ハ通ゝ見ゝるゝの口ハ文味ゝ

ゝ入ゝ年ゝ入れゝ文声ゝ聞ハ知ゝ通ゝ年ゝ

ゝ其声ゝ等ハ先ゝ文味ゝ言ゝ通ゝ

濃ゝ深ゝ浅ゝ声ゝ高ゝ低ゝ有味ゝ

ゝうゝ紀ゝ百ゝ言ゝ知ゝ

ゝ子ゝ孫ゝ知ゝ

生ゝ情ゝ文ゝ書ゝ見ゝ事

まゝも心ざし用ありしてこゝに道と法ふ人の故に事我
孫といふ之とも心の肖ひきまてきけし事も年よ深くまて
胸ひたてまも目人も喰食へとし味のたるまのるをも
人一日ニ三度に食我くひても心に用ひさくはぶる
思ひめし我くの上手もしいなるゝるやうはなその
事りまけいこ藝術日よ三度つゝ学ひ事一生ゆゑの
ましくるいも是非も術も上手も通る色にし我用する
に用ひ給ふかは道よ遠く事故書を読むともしも一
日いつ読むとも心の用ひねは學よたくいある事
我誰しも心の用ひ稀はやくまて学び行ひて居よ

事なるへし然事明かなる文学問をは暗記してもたへし
極成たる道とも大なる事実を一寸も知事はならす
されども常に道ひるれある道にても大なるかし
行へし之とその道をもかしなる者の心に様なる
思ふまゝにはまれつまゝ見にてはまに山にきる
ふましいまた事ひたた仁をも怪我もある身に文学し
たとへはなきれし怪我もある者はうるまを道をうる人也
第一難き道あるは文学と今朝道人をを面にし本石を額
にてみな文学のみ之ひにまゝのゝは必つまゝに我々を
歩へらまさる風もしされしても守ることをは大ある

行事ハ良もろく照しいふその之人も学者されたと
たゝ妙に常にうれし日用之事思ひ常にまゝふか
おふのまゝ歎もつきやうれしとも一旦おしこ要道
それ附き扱きしおとも常に事もに之そしてよろしく
ほしもかこ道に用にハそしても誇りしまし成よふしけ
我思まゝし我よ思出し行事まこれを一生我し
かれ然恥をうらむ思人前にも出る事之ありは又あり
男とそ俄に言れいと多人ありに動こる暗夜にも燈火なか
我思へなり一生難なりかなり行しれよ一生まて
たゝりハ春も云そのまゝ金かハ事にもハよ我事なり

丈夫とハ志ありしても学問せるよふ身に始しいふハ何事
我やう人無しも下つこに至に性者まし家ある成者
なし男ある成なる家ハ別父母にたゝまゝよ身の則父
母しかこみも言身不孝ほとりとも何ぞなりこう
かしも言人に酔生夢死して以て我をふき事し言ぬしそ
死するとてうち成事まちうへんは学問に満ちて死ぬな
人そむいつゝ我事かに人無我身ましにも事をは新しき子
つくり事なりハ成程志つきしも花乃あはれしく泣く
明徳まましいまさしく人ハ天地之心とあり常に生れまし
そのゆゑに本性善なれ我ゆゑに霊明不測なりける

八聖人と雖も誠に稽古の事に[illegible]
作を人は事外之能因ひ[illegible]人病
有り諸医も[illegible]
人を[illegible]り医術奇術とも[illegible]の病重命を八
[illegible]に命を親しく[illegible]
[illegible]思ひ[illegible]
[illegible]詳[illegible]
[illegible]
[illegible]事此恩[illegible]
[illegible]利[illegible]
[illegible]恩を報[illegible]

[illegible]一品を人[illegible]
恩を報[illegible]
大恩[illegible]
事[illegible]
[illegible]
食を[illegible]
[illegible]
[illegible]
成迄[illegible]
[illegible]

ゝ足代者や慈悲道具なとゝ思ひて藥代貫ハ求出ん
て何ともなく丈夫にもてなしてまかせ行ふにも跡に中
みなおけるに佛神備へさせ度しと常に醫者へ
施有ならハ者を招て物のことを葉代貫しのまゝ也今は備
り者こそのひとうちさゝて扶ていつくしてまゝ先三歳迄
ハ常に付して跡ていつくしき大小便財の煩ひとて療中
も能くうちひるけたるよしとあまた相子の養育し
て座る衣いあれもいあるしき手に相子の業平
歯しては切病の代子の事に毎に言にも付相子も契
う川くしらて此れのう歯にはその事に川きとも

相子にて父母よる事人の事代あるもをとも是代始して
跡をしてかくる事間にて療にもしても常にもて好嬢
し思す事つあまいつてもかいあらひ衣蔵まで及へも
て樂しうて遊ふ事しもつあま事怪我あるしてしも七ん事
のとや悪ひしては七信またまいいて小兒の財寄中
父母ともに子の事も心のさの事いふ口まきとしくさき
かひもしまてもし聊分の實にまり嬉き事なく
只かく思事にうあるは氣のとおみなに化りなりけとも
もかしなしくさて事成長されを男は藝術秘密を
ゝ世に成とし女は縫織事をさしく備金さとしく

嫁入せし七日のうちに父母のもとへゆけるにもたゝ継母とハ利にしたかふ人
くしらかゝ申紀ん年まてさくらからりけりしもまた恵深かるし
せの人は常にそむかりしる高くあらハ忠遂の心ときそめの
し父母を今はなきものとみ父母顧と思ひしくうらしく哀み
より父母見は肩んたる程いつもかけるをかいへ行年へて
知らぬ思内にてうき人のまゝ進うくして此の様人々としく
るのしもん頃父子の節をしる進すれ附ハ父母とも子のにくミむ
母を勤めさを報する事ハ忠孝と父母をも子に向ひ申し
とるにまうする夫妻人もすゝむれとも恥あるにかよふ示し
しもとくしもしゆるいふ忍事まとはぬと思ふ心をはなれハ文ハ修ふ

△とも思ふ忍ハ父母のたんつる事も左程とかくに家に随ひ死
人のうみに善ある者又いかなれとも世に孝子賢人の中に出ても如へし
ろく人の参るに事のとうみきり〳〵も父母のとなつ恩も失ハれ人
たるものハ人の子たるハ世にはなれしも其身を生まるの大恩ある
盲ろうやしなわる大恩敬ありし其大恩ハ洪ミ海より
も深く山よりも高し其ゝ恩を報せんとするに文武存
子ハ鄕見をうしなひていかにして辨せんやその恩を報
ぬる事なしとはいへともをや〳〵身を損失せるへき人あるか
はるも何かあらんにけしき事に尊き荒常成
もやうしにこの身ハからす也成長しぬるこそ令

賢愚苦患ともにたゝひとつ行ふ事皆我なす事也況父母
の家財継き家督次男よりなにゝ養子にゆく女子ハ
なへく嫁しても困窮貧苦にうちしても慮なくて
父母の恩いま事一生の安堵なさしむ文のゝ銭目
由なる人ともに操なきまゝ八万代となたにて又月
塔ありて長ならなととしも寿人そ失ふもまゝかの様からく
今の凡人なりて人とて又は聖賢の書を讀せ
ねて聖賢の道をも知らんならもまし絶えし
やて下賤となとも大なるにたとしてつたなり
我なる祖父の陰徳ありて一生難なくゆく絶る

事なるも是父母の恩にて魚ともに其の恩を報せ
作らなよん事何ともなき人にも身をやすくつかれまゝたる
道をまもりしも子なるにもなき男み人の子
なる事も生し母の事足くは安義なる我文ともあり
ゆらに其の孔のみならず鳥獣の孔にもまた終る
それし禮記にいはく鸚鵡よく物いへども飛鳥をはなれず
またも猩々能くいへども禽獣をはなれずといへり今人として
禮無きものといへども人とならし猿と人に
となりたに働けしもけるそのみしと人と云しとか
身も人は本ならん人なるかれは大なる人そ云ぬるを

忠尊とハ淮尊とひとし人を淮人と
云今人ハ家ハ[illegible]ハ人を而行れ
淮人と云事ハ杉角又毋ハ四位ハ方かんん
事かゝ武人ハ[illegible]なる我一ハ淮人
ほとも少ハ[illegible]なる者くとをいまをある事
多淮ものや却今ハ人かゝ事ハ[illegible]
多年年なを[illegible]か安年ハ内ハ右方右ハんとく
人なくとかとひとく死ハいんハ頂と云屋ハ竟
練紂同業ハとをハを重人悪人とも[illegible]事
只六十年ハ[illegible]ハ楽ハ[illegible]書人を[illegible]

主ハ是を沙汰ハ[illegible]
大[illegible]流桁ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]年年ハ[illegible]
迎[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
門[illegible]農[illegible]
長[illegible]　上意[illegible]
明君ハ　上意有[illegible]事
[illegible]今年年[illegible]ハ[illegible]右方[illegible]
[illegible]者[illegible]年年[illegible]
[illegible]
[illegible]

ことしらすして父母の名迄けかし先祖を辱しめと
行する事ハ一旦半年の間ハ快楽をきはむといへとも長く
悪名をのこし末代まてもいはれ事なりすや文字世に居
ゑ人ハ只半年肉の間男色にふけりて我身を失ひぬる
ハしらすして家をも亡し身をも失ひ父祖の名をけかし
或ハ飲食色欲にて命をほろほす事を半年にさへ
保せしより数千歳へ悪名をのこす事いかならる
心やうかんなりけれとも実ハ只欲の人欲元より
明まことしからすして事ハ皆しらすといふ
事なり人欲にまかせて人之人に面白き事と一とへてよし

若年の思ひにしたかひて勤めからはいと可事なり
人欲正理を害する事甚しく依情をはし飲食の欲をさする
事なれとも人のわ皆色欲に一とふ条をよし万事皆せする
にて成ものなりとも先に体化と好むも酒をのみもよからぬ事
ところもとの色欲のなかにかけしる事也ハ色欲まれなるものを
なりぬれハ色欲とふたよりの根を其は貴人君子といふ程の
人にハさまなるけれとも中人より下ハ皆ち心まとひしとらするに
のちも今相対にてすこし当世なるか好ハかたからぬのハ
し常に人並になれとも色欲にかかりしく穴へ入るもの
かうまて障子に織をとりかふてついかくすかもかもしく

まよハしき人よしとかへちにゆくゆへ成なること色歌と云
も也わか色歌ハこゝかしこ神仏の兼用つくるも出る事
まこと識よます始る道切にて有しと云ハ行ふねし私歌な
んとしるへ色ましかるへしきつ史とまさして事
いふて始有ます此くのす仕かく色して自から
用ひてと加へるなりし春に嫁まる秋に老て
成ぬし次第にし朽を遂て老之行思へ哉
もし史を志す者はし先の好しての見用て
仏有ハ春かせん之行識ら之ろ極してるつ有る
谷淵し事を尖ゆ捐つへして要用つくと云事

夭代義と見えみにくき事婉しき人情を下賤を用
事なる見人命まとめとりなれし史丹兼用かて集て先へと
くりかへしに伝事女乃別も当社る色今道路て事女
ま逢ひ生れもしき事媒夭色ありし見んの道路を云邪
始人命道ハさ無し色情も放ふれのち宜きもする
きのなるまずれ此とめとりなれを知られて史に秘る
うくハまりて兼用しかし思ひつる色歌まず始る道う
と思ふ極ま成事なり皆まず始る道うきしと思ひ
つ有ん生すハ先ん下までや私んして兼用を仕る事の思
かくのことしと事也人歌のさきとしらしん事天理

しゝ天下文し仏心を云修まらしむるハ大人学の道なり
聖人まつ其こゝろを学ひてこゝろ之得ハつまる所今聖人
に云る是遠き世に伝ふるは学問と云ふ心
修身をもとし卿にて学ハ禄をもなるとも大道によれず
事也　修身と云ハ二階へ上るをもとしてし一段つゝたしむへき
如し二三段とを経て上の回る禄をも上くハ何にもしれぬ道理
あり論語孟子にハ書ハ云ふ一時の事にハあらす聖賢の
詞にして其書の論旨あるにも余るをもちてれとしてしる
事を聞くも其の言ふ人にてもこゝろに記しとしかえる人も一つ
にたかに用ひ併さしも修まりし皆修身をとせむハ是初学の

己の一言を読たとへ得よるにも得る事用ひ程子此大
学をまつ先としてし論孟をすへてしるこの心さするを定
人としても先張ますまても可なるを非と中庸と
云書は聖人伝授極致之言とかゝ中を世とて所謂
ふ人は書の事なれと聖人とひとつれ共其理の極意
をも得る事安からぬ事なれは程子の教而継は主意
なきるうかりし大学修身之者をもちて是とて綱目のしたし書すて
修身をもとへは立て論孟之極意をも志よくゆ然る事也
をもとし論孟を主とし志をも融貫し以て得てしたに至
意をもつて旨とし学得して極を示すと中庸を

和ねをるゝ事也文王書ゝみ聖人
道と和るゝの書とゝまねをるゝもゝの八大学
とゝんまもれをるゝ思事之今ゝ學ゝゝゝの
あゝるゝをゝゝ帝書をゝゝゝゝゝ
ゝゝ思をゝゝゝ川の愛ゝゝの文ゝゝ人
ゝ學をゝゝるゝ事をゝゝ

明明德

明德ゝゝ天ゝを受ゝ德ゝゝゝ是則仁義禮智
ゝ德ゝゝゝゝの文天道ゝゝゝゝ主宰ゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ陰陽

行也本ゝゝ理ゝ氣ゝ氣ゝ氣有ゝ形ゝ
ゝ天道ゝゝ取ゝ理ゝ陰陽ゝ
ゝゝの人ゝ貴ゝ
ゝ形ゝゝゝゝ道理ゝ事ゝゝ
ゝゝ乾ゝ理ゝ乾ゝゝゝゝゝ
ゝゝ事ゝの形ゝ
人ゝゝゝゝゝゝ理ゝゝゝゝ
ゝゝ乾ゝ人ゝ元ゝ
ゝ理ゝゝゝ形ゝ
ゝ乾ゝ

百姓は形をうけて人は道理をうけ
ゆえに道理を行ふ事なり
ゆえに人は生まれて道理を失ふ事
更なり仁義礼智性誠なる人を言事なり
是性善と云明徳と云也

内閣文庫

国立公文書館
National Archives of Japan